

終わりに

緊急時には、平常時と異なる多くの判断が早急に求められます。

もしあの時、汚泥にまみれた会社を目の前にし、これから行うことについて、ああでもない、こうでもない話し合っていたら、却って早期の復旧は困難だったように思います。

もしあの時、議論に次ぐ議論を繰り返していたら、前の見えない絶望感のみが広がり、ただただ途方にくれるだけではなかったかと思います。

復興に当たっては最も大事なものは、方法論ではなく、「何とかしなくてはならない」という気持ちを持ち続けること、これに尽きると思います。

考える時間は、後でいくらでもあります。「あの時ああやればよかった」「なんでやらなかったのだろう」という後悔や反省は、大きな決断をした後には必ずついて回るものです。多少回り道をしたとしても、「何とかしなければ」という気持ちを持ち続けることの方がずっと大切だと思います。

この時の後悔や反省を糧として、次に備えればよいのではないかと思います。

また、平常時にできないことは、やはり緊急時にもできません。

「いざ」となればできると考えがちですが、日頃をきちんとできていないと、やはりできません。当たり前のことですが、毎日毎日の積み重ねが答えとなって返ってくるだけです。今回の災害は、一日一日の大切さを改めて考えさせられることとなりました。

この報告書を読んでいただいて、私たちの経験や後悔、反省が、皆さんの参考になれば幸いです。



立花いこいの森北側の沖端川の堤防決壊現場（11/27）

皆さんのお陰で、怪我等はありましたが、一人も欠けることなく、共に復興の日を迎えられたことを嬉しく思います。

最後となりますが、私たちが目の当たりにした光景が、それ以上の光景が見渡す限りに広がるなかで、復興に向けて懸命に頑張っていらっしゃる東北地方の皆さま方の1日も早い復興を、心よりお祈り申し上げます。

（株）ヤスナガ

水害復旧報告書製作プロジェクト一同

追記 - 社員からの感謝の言葉

「今回の水害を通して、ボランティアの方々の協力が一番ありがたく思いました。主要取引先の機械7台分を出荷目前まで準備していた矢先の出来事だったため、被災後は製品がドロだらけで散乱しており、正直どこから手を付けていいのかわからない状態でしたが、ボランティアの方々に地道に洗浄して頂いたため、何とか出荷することができました。今までで一番大変でしたが、本当に貴重な経験だったと思います。本当にボランティアの方々には、感謝の気持ちで一杯です。」



「連日の復旧作業が果てしなく続きそうな絶望感の中、大勢のボランティアの方々のご協力のおかげで、想像以上に早く復旧できたことを心より感謝いたします。」

「ボランティアの方々、修理をしてもらったメーカーの方々のおかげで、かなり早い復旧になったと思います。」

「復旧初日から、ボランティアの方々に手伝っていただき、プログラム室の泥出し作業をやってもらいました。おかげで一日で終わることができ、大変感謝しています。」



「多くの取引先及び関係者からのお見舞いや復興作業の応援が、精神的、肉体的に大きな支えとなりました。」

「今回の水害で学んだことは大きく、また改めて東北で被災されたみなさんは、本当に大変だったのだらうと実感しました。」



「今回の水害被害は、予想以上の状態でした。TVで見る映像が、まさか目の前で起こると思ってもいなかった。復旧まで1ヵ月以上はかかると思っていたが、多くのボランティアの方々のおかげで、約2週間での再開となったと思います。」

「初めて水害にあって復旧の大変さを知りました。最初は物を動かしたり、泥を出したりと手作業が大変で、人手がいくらあっても終わらないと思いました。でも、すぐに多くの支援を頂いて、早く復旧することができ、感謝しています。」





「今回の水害で、災害の恐ろしさ、災害による復興作業の大変さを身に染みて思い知らされました。そしてボランティアの方々をはじめ、多くの協力企業の方々の支援の力を感じました。またヤスナガ社員全員が結束したと思えました。確かに大変な復興作業だったと思いますが、得るものも大きかったと思います。今後この教訓を忘れずに、～ ONE FOR ALL , ALL FOR ONE ～の気持ちで頑張りたいと思います。」

「私は今回の復興作業で、人とのつながりを強く心に刻むことができました。暑い中、ボランティアの皆さんは、頭から汗びっしょりになりながらも疲れた顔を見せないで、私たちヤスナガの復興作業を手伝ってくださり、時には「大変でしたね、頑張りましょう！」と励ましの言葉をかけていただき、正直言って私は「暑いな。疲れたな。」などと、弱音を吐いていた自分がなんだか恥ずかしい気持ちになり、「よし、頑張ろう。早く会社をきれいにせんとでけんよね。1日でも早く仕事ができるようにならんとね」という気持ちになりました。これもボランティアの皆様のおかげです。おかげで2週間という早さで、仕事ができるまでになりました。人と人との関わりや絆は、すばらしいものだと感じました。「ありがとうございました。」と心からの感謝の気持ちで一杯です。」



中国からの研修中に被災し、共に復旧に向けて頑張ってくれた中国人研修生 王君の研修最終日に (7/27)